

授業科目名	情報教育法 I	必修	開講年次	2	単位数	2
科目区分	教職に関する科目(教育課程及び指導法に関する科目)					
サブタイトル	普通教科「情報」の教育目標と指導法	担当者	宝剣 純一郎			
講義概要	<p>【概要】 高等学校の学習指導要領が改定され、新学習指導要領は2013年度入学生から適用されます。普通教科「情報」は共通教科「情報」と表記され、「社会と情報」「情報の科学」の2科目となります。共通教科「情報」の目標は、「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」および「情報社会に参画する態度」に大別されますが、これらの内容は独立しているわけではなく、相互に関係し合っています。個々の内容理解に加え、相互関係も理解できるよう解説します。</p> <p>【到達目標】 教育実習で授業を担当できるようになることが最終的な目標ですが、そのためには共通教科「情報」に関わる知識だけでなく、コンピュータやネットワーク一般に関する知識も必須です。これらの知識が不足している場合には、それを補強しなければなりません。授業中あるいは授業外の場でその知識を修得します。</p>					
履修条件	次年度以降に教育実習を行う学生諸君が履修できます。					
教科書・参考書	<p>【教科書】</p> <p>【参考書】</p> <p>河村一樹編著【情報科教育法】学文社(2008)</p>					
授業回数	内容					
1	学習指導要領の概要					
2	普通教科「情報」の目標とその内容					
3	教科「社会と情報」の目標とその内容					
4	情報の活用と表現					
5	情報通信ネットワークとコミュニケーション					
6	情報社会の課題と情報モラル					
7	望ましい情報社会の構築					
8	教科「情報の科学」の目標とその内容					
9	コンピュータと情報通信ネットワーク					
10	問題解決とコンピュータの活用					
11	情報の管理と問題解決					
12	情報技術の進展と情報モラル					
13	学習指導案の作成(1)					
14	学習指導案の作成(2)					
15	学習指導案の作成(3)					
評価方法	授業中に課した課題、授業への参加態度に加え、必要と認める場合には期末試験で評価します。					
評価基準	上記授業内容について、よく理解し、適切に課題などを完成させた者には「A」、理解してはいるが、一部理解に不十分な箇所がある者については、その程度に応じて「B」または「C」とします。授業内容の理解自体が不十分な者については、その程度に応じて「D」または「E」とします。					
その他	特になし					